



## 【グローバル社会を担うためのグループワークⅡ】



### 《目的》

グローバルな仕事に携わっている方々とのグループワークを通して、日本の産業がグローバル社会で大きな役割を果たしていることや、その重要性を実感する。

### 《実施内容》

◆企業の方々とのグローバル社会についてのグループワーク

○日時 平成30年7月6日(金) 2・3限目

○対象 機械造船科2年生 37名

○取組 ・グループワーク「世界における我が国の産業」  
・各グループでのまとめ・各班代表生徒の発表

### 《講師》

[船舶産業] 今治造船、新来島どつく、日本海事協会

[機械産業] 潮冷熱、四国溶材

### 《グループワークでの助言》

- ・日本で製造した製品を海外で組み立てている。海外での船の修理も多い。仕事はメリハリをつけて丁寧に取り組んでいる。
- ・職場には多くの外国人がいるが、話を通じないときは理解できるまで繰り返し何度でも説明している。
- ・英語が話せると交流する機会が増え、新たな技術が得られる。

### 《各班の代表生徒による発表》

- ・英語の大切さ、コミュニケーションの重要性を感じました。
- ・海外では苦勞が多いので、色々な経験をして学んでおきたい。

### 《生徒が学んだこと・今後取り組みたいこと》

- ・どの企業も海外と交流があり、改善・工夫して発展している。
- ・海外との交流を大切にし、よりよい製品を製造・販売している。
- ・しっかり英語を学びグローバル化に対応できる人になりたい。

### 《実施後の講師意見・感想》

- ・生徒は活発で質問も多く、楽しく取り組ませてもらった。
- ・昨年度より専門的で踏み込んだ内容が多く、成長を感じた。

### 《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

取組の開始前に椅子を近づけ、導入で自己紹介を行うことで、話し合いがスムーズに行われた。説得力のある助言者の話に目を輝かせ、笑顔で話す生徒も見られ、よい取組となった。

### 《成果・今後の課題》

生徒は積極的に質問し、グローバル化に対応して、自分が何をすべきか学ぶことができました。今後は、今以上に主題に焦点を絞り、深い学びを実践していきたいと考えています。

